

# 歴史散策9コース掲載

## 市民グループが地図 古墳や酒蔵紹介

### 東灘区

東灘区の歴史愛好家らでつくる「東灘ボランティアガイドの会」が、古墳や神社、酒蔵など区内の名所をたどる「東灘まち歩きマップ」を作製した。

同会は市シルバーカレッジ（北区しあわせの村）の歴史探訪クラブの元部員らが中心になり、2013年に発足。現在は35人が所属し、講演会やまち歩きイベントなどを主催している。

マップは、住吉川清流の道▽浜街道民話▽近代史・豪邸▽酒と歴史ーなど、テーマ別に9コースを設定。それぞれ約3〜7キロと半日程度で歩ける距離を目安にコースを組み、神戸深江生活文化史料館の道谷卓副



「東灘まち歩きマップ」を作製した東灘ボランティアガイドの会のメンバーら＝東灘区住吉東町5

## 柔道の父・嘉納治五郎ゆかりの地も

館長が監修した。東洋初の国際オリンピック委員を務め、東京五輪を前に再び注目を集める柔道の父・嘉納治五郎のゆかりの地を巡るコース（4・8ギ）も。嘉納の銅像や直筆の額が展示されている御影公会堂を起点に、生誕地の石碑や生家跡、嘉納が設立に尽力した灘中学・高校などを紹介している。

3千セットを作製し、東灘区役所や御影公会堂などで配布している。同会代表の富田幸長さん（72）は「地元の魅力を形に残したいと思った。マップを片手に散策し、東灘の知られざる魅力を再発見してほしい」と話す。

（谷川直生）